

令和元年度 第4回障がい者計画・障がい福祉計画検討委員会 会議録

日 時：2020年（令和2年）1月14日（火）9：30～11：30

会 場：藤沢市役所本庁舎7階 7-1・7-2会議室

出席者：高山代表，澤野副代表，齊藤委員，種田委員，都築委員，
富澤委員，西村委員，林委員，向井委員，山野上委員

計10名

事務局：片山福祉健康部長

福祉健康総務課（蓑原）

福祉事務所長兼生活援護課長（矢後）

地域包括ケアシステム推進室（玉井，三ツ井，糊澤）

福祉医療給付課（矢内，倉田，小林）

子ども家庭課（大庭，安田）

障がい福祉課（池田，松野，加藤，寒河江，鎌田，勝木，竹原）

ふじさわ基幹相談支援センターえぼめいく（吉田）

計19名

欠席者：大澤委員，伏見委員

傍聴者：6名

●開会

- ・開会挨拶。（事務局：池田参事）
- ・事務局から資料について説明。（事務局：勝木主任）

●議事

（1）次期計画策定について

- ・事務局から資料1-1から1-2について説明。（事務局：鎌田主任）

【質疑応答及び意見】

- ・質問（都築委員）

モニタリングシート確定値の5ページ，6ページの生活介護の部分は，事業所が2か所増えても利用者がより増えて厳しくなっているという理解で正しいでしょうか。

- ・回答（事務局：鎌田主任）

現場で人手不足が発生している現状，その理解で正しいかと思えます。

・意見（都築委員）

親の立場として、卒業後の進路に不安があるため、ぜひ次期計画策定はこの部分をよろしくお願ひしたいと思ひます

・質問（西村委員）

地域生活移行者数について、令和2年度から増加する予定はなにかありますか。

・回答（事務局：鎌田主任）

日中サービス支援型グループホームの開所がいくつか予定されている状況から、地域生活移行に繋がる予測をしています。また、保健予防課による退院支援や計画相談支援事業所との連携強化により地域生活の地盤を作り地域生活移行に繋げたいと思ひます。

・質問（西村委員）

就労定着支援の実績等の数値はありますか。

・回答（事務局：鎌田主任）

平成30年度の実績は出せていませんが、令和元年度からはモニタリングが可能となるため実績をお示しできるようになります。

・質問（種田委員）

相談支援専門員の数が増減しているのはどのような状況があるのでしょうか。

・回答（事務局：鎌田主任）

人数のカウントの仕方が変わったわけではありませんが、実際に活動している人数を各事業所に電話で聞き取ったところ、56名と確認したものです。

（2）関連会議について

・事務局から資料2-1について鎌田及び吉田から、資料2-2について寒河江補佐からそれぞれ説明。

【説明要点】

・資料2-1について、3ページ以降の自由記述はごく一部を抜粋したもの。来年度以降、分析の結果を含めて報告する予定。

・実際の聞き取りで感じた点として、今困っていることと将来の不安が合致している点と、今の生活を変えたくないという点についてよくご意見をいただいた。我々支援者や行政への期待と捉え、次の施策、次の支援に繋がりたいと感じている。

・資料2-2 差別解消支援地域協議会の来年度のテーマや計画は、現時点で未定。

(3) 藤沢市行財政改革2020について

- ・事務局から資料3の概要について説明。(事務局：松野主幹)

【質疑応答及び意見】

- ・質問(種田委員)

検討するためにはどう変化するか、どう検討しているのか、内容を具体的に明らかにしていただきたいのですが。

- ・回答(事務局：松野主幹)

検討している内容として、まず心身障がい者介護手当は廃止する、または対象者を障がい福祉サービスを受けていない方に限定する方法を検討していますが、廃止は障がい福祉部門としては難しいと考えています。次に障がい者福祉手当は、近隣市と比較して高額になっているため廃止ではなく金額の減額や、生活保護受給者を対象から除外することを検討しています。次に障がい者等医療助成費については記載や以前の説明のとおりで、最後の障がい者等福祉タクシー助成事業費については今後タクシー券をどのように利用しているか調査を実施し、その結果を踏まえどうするか検討したいと考えています。

- ・質問(種田委員)

障がい者福祉手当を減額する場合はどのくらい減額になるのか、障がい者等医療助成費は県の補助要綱に準じるのか、障がい者等福祉タクシー助成事業費は減額または対象者の限定をどのように検討されているか、お聞かせください。

- ・回答(事務局：松野主幹)

障がい福祉手当については、現在月額4000円ですが近隣の自治体は平均で月額2000円程度と確認しています。障がい者等福祉タクシー助成事業費についてはまだ検討しておらず、実情の把握に努めています。

- ・回答(事務局：倉田補佐)

障がい者等医療助成費については、県の補助要綱のうち年齢制限と所得制限について検討しており、それもそのまま適用するかどうか、形を変えて適用するか、今後検討する予定です。

- ・意見(澤野副代表)

近隣市と比べ高いから下げるといったことは、将来に不安のある当事者や会議などではとても言えないこと。また当事者は申し訳なさを感じており、こういった変更の声が上げにくい部分もあると思うので、当事者の意見を丁寧に聞きながら、暮らしへの影響をもう少し丁寧に検証するべきだと思います。

・意見（西村委員）

会の意見の報告ですが、障がい者医療助成費に関しては、当事者や家族の収入自体が今のところ増える予定がなく、生活に密接した助成になるので、これだけはぜひ今までどおりに続けてほしい。あとは、会で意見が分かれていましたが、廃止や減額を行ってできた予算はぜひ親の不安を取り除くようなものに充ててほしいという意見がありました。

・意見（向井委員）

障がい者医療助成費に関して、藤沢市は県の支給対象基準よりかなり広く素晴らしいことと思っています。ぜひ藤沢市の基準を見習ってもらいたい要望を県に出したり、今の基準を続けていただきたいと思います。

・質問（齊藤委員）

医療助成費とタクシー券については重要であると共通認識があると思いますが、介護手当と福祉手当については制度開始が古いため、当初の目的を達成できているかどうか検証し、今受給している方に納得いただける根拠をしっかりとって見直しをできたらよいと思います。各事業の金額はどのくらいでしょうか。

・回答（事務局：池田参事）

平成30年度の決算ですと、まず心身障がい者介護手当が2068万円。障がい者福祉手当が2億7299万円。障がい者等福祉タクシー助成事業費が1億3628万円。障がい者等医療助成費が17億6203万円。また見直し対象の22事業の総額で言いますと、事業費が111億6978万円で、平成30年度の市の一般会計の決算額が約1425億5000万になりますので、その内の約7.8%になります。

・回答（事務局：倉田補佐）

補足ですが、障がい者等医療助成費17億円のうち県の補助金として2億7600万円、高額療養費の還付金が1億4600万円の収入となっており、実体的な市の負担額としては13億1100万円程度となっております。

・意見（種田委員）

障がい福祉サービスを利用せず、頑張って自立生活している方にはぜひ障がい者福祉手当を引き続き支給していただきたくご考慮くださいますよう、よろしく願いします。

・質問（高山代表）

各事業は令和3年度からの実施と記載されていますが、令和2年度に見直しや検討を進めるとなると、予算の都合等から令和2年度の途中にほとんどのことが決ま

っているスケジュールになると思いますが、意見聴取や一步踏み込んだ研修ができる場を作っていただく可能性はあるのでしょうか。

・回答（事務局：池田参事）

令和3年度からの実施を目指して進んでいますが、意見聴取や検討をし、当事者や家族に不利益にならないよう判断するには少し時間が不足、令和3年度実施から延期されることもあり得ると考えています。

（4）その他

・ふれあいフェスタについて事務局寒河江から、分庁舎について加藤から、自閉症協会広報について都築委員から、「『きらり ふじさわ』中間見直し」モニタリングシートへの質問に対する回答について鎌田から、藤沢防災フォーラムについて種田委員からそれぞれ説明。

【説明要点】

・ふれあいフェスタについて、来場者数はおおよそ2,500人。参加者の年齢はおそらく親子連れが多く、10代、30代、40代が多かった。

・分庁舎について、落成式を12月14日に開催し、1月6日に供用開始している。福祉喫茶室は社会福祉法人ひばりが運営することに決まり、来年度4月1日の開設に向け準備中。

【質疑応答及び意見】

・質問（齊藤委員）

ふれあいフェスタについて、長年続いていたふれあいステージから変更した目的や経過、結果などをぜひ関わっていただいた澤野副代表からお聞きしたいと思います。

・回答（澤野副代表）

今までのコンサート形式は内向きなイメージが強く、これを解消したいという意見がまずあり、福祉人材の確保のためまず関係人口を増やすべく、楽しんで来てもらう。また福祉教育にも力を入れ親子連れや福祉関係者ではない方にもたくさん来て楽しんでもらおうと企画しました。一つひとつの取り組みの中にコンセプトを込めて実施できたと感じております。

・回答（事務局：寒河江補佐）

今後はこのフェスタにぜひ出展したい、参加したいといった声が増えて、皆さんが作るイベントにしながら障がい福祉の理解を進めたいと考えております。皆様のご協力や知恵をお借りしてできたイベントで、皆様の知恵が財産だと改めて感じました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

- ・意見（向井委員）

1階エスカレーターの前で出展した啓発ワークショップを今後3年くらいは続けて出展をお願いしたいと思います。今年は情報が遅くチラシに掲載されませんでした。ぜひ来年は早く情報をいただきたくお願いいたします。

- 閉会

- ・閉会挨拶。（事務局：池田参事）